

# 生 計 内 容 申 告 書

1. 扶養を希望する方(以下、認定対象者)が配偶者・子以外の場合に、記入例を参考にご記入願います。
2. 健康保険法第3条第7項で「被扶養者は主として被保険者によって生計を維持されていること」とされており、この申告書より認定対象者の生活実態を確認し、扶養認定の適否判断をします。
3. 申告書の内容により、詳細を把握するための書類を別途お願いすることがあります。
4. ご提出いただきました申告書の内容については、被扶養者認定の適否判断以外には使用いたしません。

所 属	保険証記号番号	被保険者名(社員)	当申告書の記載内容は、事実と相違ありません。 年 月 日
	—	㊦	

記 入 方 法	<p>①ご家族全員を被保険者(社員)との続柄で記入 *縦列と横列の <b>a~e</b> 欄の続柄が同じになるように記入</p> <p>②被保険者との居住状況を○印で記入</p> <p>③賞与を含めた年収の月平均手取額を記入</p> <p>④「③手取額」の内、いくら生活費として支出しているのかを記入  <b>【生活費に含まれるもの】</b> 食費、住居費(家賃・住宅ローン)、水道・ガス・電気代、日用品費、洋服・理美容代、医療費、交通費、通信費、教育費、教養娯楽費                  *税金、各種保険料、住宅以外のローンなどは含まれません。</p> <p>⑤「④生活費」が誰に対していくら使われているのか詳細を記入                  *食費、住居費、水道・ガス・電気代など世帯全体のものを支出している場合は、その総額を世帯員数で割った一人当たり額が各人に分配される金額となります。</p>
------------------	---

①家族構成 (続柄)	②住居 区分	③手取額 (年収の月平均)	④生活費 (③手取額から支出 している金額)	⑤「④生活費」が誰に対していくら使われているのかを記入					
				被保険者(社員)	a	b	c	d	e
被保険者(社員)	—	円	円 →	円	円	円	円	円	円
<b>a</b>	同・別	円	円 →	円	円	円	円	円	円
<b>b</b>	同・別	円	円 →	円	円	円	円	円	円
<b>c</b>	同・別	円	円 →	円	円	円	円	円	円
<b>d</b>	同・別	円	円 →	円	円	円	円	円	円
<b>e</b>	同・別	円	円 →	円	円	円	円	円	円
合 計			円	円	円	円	円	円	円